

2020年4月

第1回 北海道学力コンクール 受験生および保護者の皆様へ

いつも北海道学力コンクールを受験いただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて学校が休校となるなど、受験生と保護者の皆様におかれましては、多くの不安を抱えておられることと存じます。このような状況のなかで受験いただいた第1回北海道学力コンクールの結果について、簡単ではございますが下記に解説をいたします。

●問題について

第1回北海道学力コンクールは、中1～中3の全学年で、例年より平均点が低くなりました。教科別には、特に数学が難しかったようです。今回の試験は、2月末に学校が休校となり、学校での直前の学習機会が限られたなかで行われました。そのため、前学年の後半の学習内容、特に最終単元の定着が思わしくなかったことが結果に影響した可能性があります。また、目に見えない不安が受験生の皆さんの集中力を奪ったのかもしれませんが、今までにない状況のなかで実施された試験でしたので、全体の平均点はもちろん、受験生の皆さんそれぞれの得点にも影響があったことが予想されます。

●個人成績票について

個人成績票は、あくまで今回の結果をもとに受験生の皆さんの位置を示したものです。合格可能性が高かったからといって油断せず、またその逆であったからといって必要以上に悲観せずに結果をご覧くださいいただければと思います。

●最後に

北海道学力コンクールのような模擬試験では、合格判定にばかり目が行きがちですが、採点された答案をもう一度確認し、間違えた箇所の直しをすることが最も重要です。学校が休校になるなど学習機会の確保が難しい状況にありますが、今回の結果を弱点の発見と克服にご利用いただき、受験生と保護者の皆様の学習不安を少しでも減らす機会としていただければ幸いです。

北海道学力コンクール事務局

総評

国語・理科を除いて、どの教科も難しく、合計平均点もたいへん低くなりました。

数学や社会や理科では、小学校の学習内容を忘れていた人もいます。中学校の学習は、小学校の学習内容をよりくわしく調べたり、深めたりする学習が中心で、これまで学習してきた内容はとても大切です。小学の教科書はしばらく手もとに置いておき、疑問点はすぐに調べるようにしましょう。

道コンのようなテストは、現在のみなさんの実力を測る道具であると同時に、自分の弱点に気づき、こくふくするよい機会でもあります。結果をぼんやりとながめるだけでは、せっかく受けたテストがむだになってしまいます。まちがえた問題を見直し、解き直して初めて、実力アップにつながり、テストを受けた価値があります。

国語

標準的な出題でした。

㊦はよくできています。「備」は、つくりの「用」の部分の縦画と横画の本数の誤りが多くみられました。

㊧は問一、二が難しかったようです。問二は「62(円)」と書いた答案が多くみられました。62円に値上げされたのは、お母さんが小学校二年生のときであり、問われているのは小学校一年生のときの値段であることに注意しましょう。

㊨と㊩は全体に得点率が低くなりました。㊨は、問一(1)、問五の記述が特に難しかったようです。㊩の問五は、「十五字以上」という指定に注意が必要です。

記述の答案を書くときは、誤字や脱字、主述のねじれ、空欄の前や後との接続に注意して、惜しいミスをなくしましょう。

数学

①～③の得点率が予想を下回り、平均点は低くなりました。

①は、必ず身につけたい基本的な問題です。計算の順序や小数と分数の混じった計算など、忘れていたことがあれば、この機会に必ず復習しましょう。

②～④は、割合や比、反比例する量など、小学校の学習内容のうち、中学校1年生の学習に直接つながる内容を中心に出题しました。易しい内容ではありませんが、中学校1年生の学習をスムーズに進めるため、解説を読んでもう一度挑戦してみましょう。

⑤と⑥は応用問題を中心に出题しました。重要なのは問題の見方や考え方です。解説の解き方や考え方が自分の考えと違っていた場合は、解説をよく読んで、考え方のバリエーションを増やしていきましょう。

社会

難しめの出題でした。5年生、6年生の内容が中心でしたが、忘れてしまっていることも多かったかもしれません。まちがえてしまったところは復習して、中学での良いスタートを切ってください。

地理分野では、②問4の問題が難しかったようです。「利根川」が正答でしたが、「最上川」などと答える誤りが目立ちました。山地や河川の名前は、地図帳などで位置を確認しながら、正しくおぼえるようにしましょう。

歴史分野では、④問1のオランダとの貿易について答える問題が難しかったようです。重要な語句とあわせて、時代や位置も暗記するようにしましょう。

日ごろの学習から語句を正確に暗記し、その内容まで説明できるようになると、中学生のテストでは点数につながりますよ。

理科

標準的な出題でした。

①は基本的な内容が多く出題されましたが、さほどできはよくありませんでした。②は、全体によくできていました。まちがえたところがあれば、しっかりと復習しておきましょう。③は、問3がやや難しかったようです。それぞれの水よう液の特ちょうをもう一度確認してください。④は、全体によくできていたようです。⑤と⑥は、小4や小5で学習した内容でしたので、わすれていたこともあったかもしれません。まちがえたところは復習してください。⑦の問4は、計算問題であったこともあるのか、得点率は低くなりました。考え方さえ分かっていたら、計算自体は難しくありません。⑧は、思考や計算が必要な出題がいくつかあり、どの問題も得点率が低めになりました。

英語

全体としてはとても難しい出題でした。内容は小学校の復習ということでしたが、小学校での英語の学習状況に差があり、とくに英語の「書き」については、小学校ではあまり学習してこなかったという人も多いと思われる、③のライティングでは得点率の低いものも目立ちました。これから中学校で英語を学んでいくにあたり、英語を書くことは重要です。「読み」や「書き」にも積極的に取り組んでいくようにしましょう。

③問2(2)は、単語1語を書く問題でしたが、得点率が最も低くなりました。スペルが複雑な単語も書けるように練習していきましょう。また、③問4は、英文自体の並べかえよりも、その英文の意味を書く部分で得点率が低くなりました。それぞれの単語の意味を丁寧に訳すように心がけましょう。